

皆様のお役に立てるよう、社員一同さらなる技術向上に努めてまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。社員一同



協力事務所の皆さんとの
2022年忘年会にて

WORKS



改修前



改修後

高崎中央病院 屋外改修工事

群馬県高崎市 22年10月竣工
施主 はるな生活協同組合
施工 タルヤ建設株式会社
鉄筋コンクリート造地上5階建

既存病院の外壁と屋上防水の劣化改修工事です。稼働しながらの工事のため、仮設計画は慎重に行いました。外壁タイルはクラックや浮いた部分に樹脂を注入し、表面を高圧洗浄しています。地域の方々に愛され、必要とされる病院の未来をつなぐ一端に関わられたこと、何より嬉しく思っています。(細見・神崎)

PROJECT 工事中です



障がい福祉サービス事業所 (仮称) パラグリーン 新築工事

大阪府枚方市 23年3月竣工予定
施主 医療法人 みどり会
施工 株式会社
タモツコーポレーション
木造地上2階建

就労継続支援B型事業所(定員20名)の新築工事です。1階はカフェスペースを兼ね備えたベーカリーショップ、2階には作業室・休憩スペース等多目的に利用可能なスペースを設けました。利用者の適性にあつた、多彩な作業環境を提供できる計画としています。(細見・馬場)



時々思い出しては献血へ行くのですが、献血ルームでドナー登録ができると知り、去年登録をしました。これで私もいつか誰かのヒーローになるかもしれません。

竹治 万里子 Mariko Takeharu

Editors

富永 斉美 Hitomi Tominaga
浜口 直子 Naoko Hamaguchi
中村 円香 Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地
TEL:075-211-7277 FAX:075-211-7270
ホームページURL <http://www.kyoto-archi.co.jp/>
メールアドレス info@kyoto-archi.co.jp



とれみ vol.55 2023年1月発行

京都建築事務所ニュース

とれみ

とれみとは、ラテン語の「tres (3)」と日本語の「笑み」
一施主、施工者、設計者—三者の笑みを表しています。

Vol.55 2023 Winter

【特集】 ゆう薬局グループ

京都建築事務所は、これまで、ゆう薬局本部ビルや各地の薬局の新築工事、内装工事に携わってきました。ゆう薬局の地域に根差した薬局としての取り組みに共感し、その地域らしい薬局のデザインを行うことに努めてまいりました。今号では、当社が設計した事例の一部をご紹介します。

ゆう薬局グループのご紹介

京都府下で店舗数NO.1の薬局を運営。地域医療や在宅医療を支える薬局として、地域の多職種と連携した取組みをされています。毎月開催の健康をテーマにしたオンライン講座や、管理栄養士による「ゆう薬局食堂」「こども薬剤師体験」などの活動は地域住民にも好評です。

河原町丸太町 ゆう薬局

2022年11月
(京都市中京区)

京都御所の近くに建つテナント内装工事。木格子や珪藻看板、透かし硝子の照明器具など、京のまちなみに馴染みのあるデザインモチーフを用い、内装を設計しました。



さくら君



四条東洞院 ゆう薬局

2022年5月
(京都市下京区)



クリニックビルの内装工事。照明を組み込んで窓のように設えた障子や、インテリアに合わせて製作した暖簾など、「和」をテーマにデザインしました。

ゆう薬局 本部ビル

2015年
(京都市左京区)



なでし子さん

京都を中心に発展する企業であることから、和の雰囲気を持たせながらもモダンなデザインを心掛けました。



上の山 ゆう薬局

2014年
(京都府宇治市)

シンボルカラーの青(当時)を基調とした外観です。待合の内装デザインに合わせた家具を提案しました。



幡枝 ゆう薬局

2013年
(京都市左京区)

岩倉の閑静な住宅地との調和を意識しながら、ファサードのデザインはタイル貼りの壁面や出窓でアクセントをつけました。



木幡 ゆう薬局

2011年
(京都府宇治市)

間口5m奥行15mの敷地にコンパクトに計画し、周囲の住宅に馴染む外観デザインとしました。



voice

ゆう薬局グループは、1950(昭和25)年に祖父が左京区で始めた一軒の薬局からスタートしました。現在では京都府に98店舗、滋賀県に3店舗を構え地域で仕事をさせて頂いております。

ゆう薬局では新しく出店する際の店舗づくりは画一的なフォーマットではなく、担当者が地域の状況を踏まえた店舗コンセプトを考え、関わる方々と「地域の方々に喜んで頂くためにはどんな薬局にしたら良いか」をそれぞれ協議しながら店舗設計を行っています。京都建築事務所様とのパートナーシップのなかでこれまで作ってきた店舗も、その様な協議の結果と地域に対する思い入れがひとつひとつ反映されています。

2015年竣工の本社ビルも、京都建築事務所様に設計をお世話になりました。本社ビルのある場所は、祖父から代々薬局を続けてきたグループ創業の場所でもあります。その3階には、コンパルルームと呼んでいる社員が膝を突き合わせて交流できるスペースを設けました。会議・研修後にはコンパルルームを活用して懇親会(飲み会)を行うなど、社員コミュニケーションを推進する為の場所として機能しています。ゆう薬局が以前から大切にしてきた社員間のコミュニケーションと地域の方々との関りを丁寧積み重ねて、これからも京都に暮らす皆さまの健康に貢献していきたいと考えております。

(代表取締役社長 宇野 充俊 様)



ゆう薬局本部ビル コンパルルームにて撮影
左より、当社 代表取締役社長 細見建司、代表取締役会長 川下晃正、
ゆう薬局グループ 代表取締役会長 宇野進様、代表取締役社長 宇野充俊様



もみじ先生

かつら川島 ゆう薬局

2009年
(京都市西京区)

京都市郊外にある住宅地での新築工事。勾配屋根や淡い色調の外装仕上げを採用し、患者さんをやさしく迎え入れるような外観デザインとしました。



室町 ゆう薬局

2008年
(京都市中京区)

京の商いや文化の中心地に立地するテナントビルの内装工事。四條室町周辺に受け継がれている伝統的なデザインをインテリアに採用しました。

